



令和6年1月10日

鶴岡商工会議所 新年祝賀会・講演会

日本、地域に 明るい未来を

内閣府特命担当大臣

加藤 鮎子 衆議院議員



上野雅史会頭による新春の挨拶



ご来賓による鏡開き



交流が図られた懇親会

鶴岡商工会議所の新年祝賀会は、1月10日(水)、グランドエル・サンにおいて、地元代議士で内閣府特命担当大臣の加藤鮎子衆議院議員をお迎えし、ご来賓、当会議所役員・議員、会員約140名が参加し盛大に開催されました。開会に先立ち、1月1日に発生した能登半島地震により、犠牲になられた方々に黙とうを捧げました。その後、主催者を代表し上野雅史会頭が、3年余の長きにわたり戦った新型コロナウイルスが5類へ移行されたことに触れ、「今年は、いよいよコロナ過明けの再生に向けて歩みだす」「時代の変化を力にして地域経済の変革に挑む」と力強く挨拶。一方で、資材、原材料価格の上昇や人材確保難など経営悪化への不安が各業種で多く声があげられていることから、「諸課題の解消に向けて官民一体となって進め、地域経済を円滑に循環させていくための正念場の年である」とし、「経営の現場の

立ち位置から具体的提案と行動を続ける所存」と決意を新たにされました。続いて、ご来賓を代表して皆川治鶴岡市長からご祝辞をいただいた後、加藤鮎子大臣よりご講演いただきました。経済成長の実現と少子化対策について、「子育て支援がしっかり整っている環境のもとでは、女性も働きに出たほうが経済は上向き、子どもの出生率も増えるということが世界データの分析から分かっている。子ども子育て支援をきっちりやりながら、女性も活躍できることが経済成長にもプラスになる」とし、社会全体で子育てを応援していくことが地域の明るい未来に欠かせないことだと語りました。その後の懇親会では、多くのご来賓、役員議員、会員の皆様からご参加いただき、共に令和6年、新春を祝い、和やかに交流が図られた新年祝賀会となりました。